

一年 国語

文法③ 文の成分

【本時の目当て】

修飾語の役割を理解しよう。



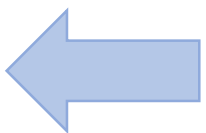
どう説明する？

女の子がお花について話しています。
このお花のことがもっと分かりやすくなるように、
さらにくわしく説明してみましよう！



花があります。

花があります。



花があります。



どんな
花？

何色
かな？



に一文節入れられましたか？

色に注目して入れてみると…

白い

花があります。

「白い」と入れることで、どんな花なのかイメージしやすくなりました！

次の画面から
イラスト以外
ノートに書こう！



☆修飾語

他の文節をくわしくしている文節を**修飾語**、
くわしくされている文節を**被修飾語**といいます。
そして、この関係を**修飾・被修飾の関係**といいます。

修飾語 **被修飾語**

白い 花が あります。

さっき付け加えた
「白い」は
修飾語なんだね！



修飾語は二種類あります。

次の画面で確認しよう！

- ・連体修飾語：「何」にあたる言葉を含む文節を修飾する。

《例》

白い

花が

あります。

- ・連用修飾語：「どうする」「どんなだ」などにあたる文節を修飾する。

《例》

ゆっくり

走る。

違いをしっかりと
おさえておこう！





次は確認問題です。

画面が変わるごとに

一時停止して問題を解こう！

答えだけノートに書いて最後に
丸付けをしましょう！

☆確認問題



- (一) 文節同士の関係が修飾・被修飾の関係になっ
ているものに○、なっていないものに
×をつけよう。

- ① 速く 歩く。
- ② 政治家が 演説する。
- ③ とても 多い。
- ④ ライオンも いる。
- ⑤ 大きな めいぐるみだ。

- (二) 次の——線部が修飾している文節を一文節で
抜き出そう。

- ① 夕方 家に 着いた。
- ② 多分 彼女は 来ないだろう。
- ③ 空き地に すみれの 花が さいた。

(三)

次の——線部の修飾語が、連体修飾語ならA、連用修飾語ならBと、記号で書こう。

- ① そつと さわる。
- ② 小さな 人形がある。
- ③ 温かい スープを飲む。
- ④ まだ 映画は始まらない。
- ⑤ 元気に ラジオ体操をする。



(一)

- ⑤ ○
- ④ ×
- ③ ○
- ② ×
- ① ○

(二)

- ① 着いた
- ② 来ないだろう
- ③ さいた

(三)

- ⑤ B
- ④ B
- ③ A
- ② A
- ① B

お疲れ様～！

